

# 花の苑タイムズ

## 盛大に「しんたかお祭り」開催 第33回新高尾地区文化祭



地域の恒例行事のひとつ「新高尾地区文化祭」がこのほど開催されました。このうち、芸能発表の部は、十一月三日、新



高尾小体育館で行われ、地元小中学校生徒による演奏や地域で活躍する各種グループによる芸能発表があり、多数の地元住民で賑わいました。花の苑では、ご利用者の代表五名が参加し、多彩な演技を楽しむとともに、地域の人達と交流を図りました。

平成29年11月10日発行  
第38号  
〒370-0002  
高崎市日高町433-1  
TEL:027-329-7211  
社会福祉法人健全会  
特別養護老人ホーム  
高崎花の苑広報委員会

### 「避難訓練」

秋の避難訓練がこのほど行われ、夜間帯での火災を想定して、初期消火や避難誘導の手順などを確認しました。



### 「百歳の誕生祝い」

Bユニット・秋山ライ様がこのほど百歳の誕生日を迎えました。



### 想い出散策記

例年になく雨の日が続いた十月のある日、Aユニット松岡照代様は昨夜から降る雨が上がり、雲間から陽が射してくるのを見届けると、職員とともに高崎市街まで久方ぶりに外出されました。

この日の外出目的の一つである市役所で期日前投票を済ませた後、松岡様が長年暮らしておられたJR高崎駅南エリアを車で散策。立ち並ぶ小さ

な商店の看板を眺めながら、来し方を懐かしんでいました。

この地区のシンボルでもあった日本製粉高崎工場跡地には、いま国際試合などが行われる国内最大級の総合体育館「高崎アリーナ」(写真)が建



### 交流イベント(10月)

「和の響き こだま音楽会」の演奏会(写真)が行われ、等・尺八・三絃による和楽器の魅力が堪能しました。この他、ハーマニカ演奏等計六回のイベントがありました。



### すこやか生活日誌

季節が段々と冬に移り変わっていくのを感じます。家でも暖房器具が欠かせなくなってきましたね。冬といえば、やはり「こたつでみかん」でしょうか。

みかんは様々なブランドがありますが、私たちが一般的によく食べているのは温州みかんという品種です。みかんにはビタミンCが豊富で肌荒れや風邪予防などこの季節

っています。その影響で周辺の景色も変化したようですが、それでもかつて松岡様が小料理店を営んでおられた旧中山道の街並みは、変わらず静かなたたずまいを見せていました。

### 贈呈(小林農園様)



にピッタリの食品。また、つい取り除いてしまいがちな白いスジには「ヘスペリジン」という物質が含まれており、ビタミンCの吸収を促進し、高血圧や動脈硬化を予防する効果があります。捨てずに食べることをおすすめします。

おいしいみかんを見分けるポイントはヘタが小さく、果皮は薄くてやわらかいものを選びたいです。(管理栄養士)



## ユニットたより

### 「焼き芋パーティー」

十月は雨が多く、寒い日が続きました。急激な季節の変化を感じる中、ご利用者に喜んでいただくイベントを考え、末、「焼き芋パーティー」を実施することになりました。



当日、用意したさつまいもを焼くと、香ばしい香りが充満してご利用者の食欲を駆り立てました。「寒い日に食べる焼き芋は美味しいよね!」「甘くてとってもおいしいわ」と利用者様から絶賛の声が続出しました。これから冬に向けて、寒さを取り切ってもらいたいという職員の思いが詰まったイベントであり、「焼き芋パーティー」は利用者様のところに届いたように思いました。(A・Sユニット K)

### 「模様替え」

先日よりCユニットでは模様替えを実施しました。テーマは「和」で、これはある職員のアイデアにより「どこか懐かしく、落ち着いた雰囲気を作りだそう」との事で、木製の看板や獅子脅しをかたどったオブジェなどを設置しました。



利用者様からも好評で「桶とか置いてみたらどう?」などとアドバイスも頂いています。またCユニットは、共同生活室の窓からくっきりと山々が見え、そうしたふるさと「群馬」を感じていただきたく、昔から親しまれている「上毛かるた」を額縁に入れ飾ってみました。

した。

これからも、職員や利用者様の意見を取り入れて、より以上の素敵な雰囲気を出せたらと思います。(B・Cユニット S)

### 「信楽焼のためき」

今年の夏、一号館玄関入口に突然「信楽焼のためき」が届きました。送り主は、三号館Gユニットの須永清様で、ご自宅の庭に約五十年置かれていた記念すべき「ためき」を、ご本人の花の苑入所を機にかねてより施設に贈呈したいとのことでした。

須永様はもともと趣味が多岐な方で、なかでも旅行は突出していてご夫婦、兄妹、はたまた友人たちを誘ってはプランニングから旅行業者の折衝に至るまでプロ顔負けの活躍だったようです。そんな中で「信楽焼のためき」は滋賀県・信楽を旅行した際、特に奥様が大変気に入って購入したとのこと。当時の奥様が「私に似ているから欲



しくなった」そうです。若い時はふくよかで、狸を自分の分身(?)だと思っていて大事にしていたようです。

もともと「信楽焼のためき」は縁起物として喜ばれ、「ためき」が「他を抜く」と洒落て「商売繁盛」を祈願して入口などに置かれていたようです。

須永様より「妻が大事にしていた身の丈百二十センチの「ためちゃん」を縁あって花の苑の玄関に設置したので、よろしくお願いします」とのメッセージを頂きました。(Gユニット T)

### 「雨の紅葉狩り」

十月下旬、H・Iユニットの利用者様三名が秋



の紅葉狩り行事を楽しみました。

この日は朝から生憎の雨で、延期も検討したのですが、「出掛けるか。いいね!」と男性利用者様の熱い一言で出発を決行。ドライブを兼ねての雨の紅葉狩りとなり、市の観光名所の一つ長坂牧場と鼻高「展望花の丘」のコースをドライブ。シーズンを終えた「花の丘」はそれでもコスモスが所々に咲いていて、利用者様も窓越しから花々やパノラマの景色を楽しんでいました。

この後、紅葉で名高い少林山への道を進んでいくと、周辺の木々は赤や黄色に色付き、車中からの雨の「紅葉狩り」を堪能できました。(H・Iユニット S)

## 編集後記

★焼き芋パーティーはこれからの寒い季節を乗り切ってもらいたいとの、思いが詰まった行事でした(K) ★ちなみにBユニットは「洋」がテーマで季節がらハロウィンの飾り付けがしてあります。(S) ★「秋」をあまり感じなく、冬に突入してしまつたようです。これからは風邪に用心しましょう(N) ★Dユニットは毎月イベントを企画しています。次も皆様に喜んで頂けるよう職員共々頑張ります(S) ★インフルエンザの季節です。入居者様には命に関わる事なので、自身がまず罹らないよう用心します(T) ★しんたかお祭りにご利用者様と一緒に参加して頂きました。地域の皆様に温かく迎えて頂いたことに感謝です(S) ★「ユニットたより」は「暮らし」の断面を切り取った記録であり、その視点でこれからも、内容の充実を図ります(N)